



須崎工高

認められる造船マンに

梅原綾太 17

須崎工業高3年

私は、県内の造船所に内定が決まりました。入社試験前に3日間、現場での作業を体験し、見学もさせていただきました。

現場の方々はとても優しい人ばかりで、「休憩しながらやりよ」「熱中症に気をつけよ」など気にかけてくださいました。とても作業がしやすく、現場の雰囲気が良いので、こんな現場で働けたら楽しいだろうと思います。

しかし大変なこともありました。真夏の屋外での作業はとても暑く、その上、鉄板の上での作業は大変過酷でした。このような労働条件で作業していることをあらためて学びました。

3日間の体験入社を終え、学校で学んだことがとても大切だということを知り、3年間やってきたことは無駄じゃなかったと、うれしさを覚えました。

学校では、生活態度、あいさつ、声だし、コミュニケーションの取り方を学び、部活動では、暑さにもつらさにも負けない体力、忍耐力を身に付けました。これらは全て社会で大切なことだと学びました。

現場は、作業ができるだけではダメなことを学び、周りの人とのコミュニケーションを取りながら、雰囲気の良い現場づくりも大切だと学びました。

やがて、みなさんに認められる造船マンになりたいと思っています。

造船
ひろば



3年生 夢に向かって
まっしぐら！